



牛乳パックで手すきのはがき作りをする子どもたち(こぼと学童クラブ)

九じろうの取材日記

親子で仲良く ハーブ石けん作り

市垂熱帯動植物園で「親子ハーブ石けん作り講習会」



夏休み中の8月3日、園内の学習ホールには、市内の小学生とその保護者など10組が集まり、初めてのハーブ石けん作りに挑戦しました。

ハーブとは香草のことで、生または、乾燥させたドライハーブを料理やお茶に利用し、香りや効用を楽しみます。



この講習会では、子どもたちもハーブの知識を身につけてもらおうと、園内で育成されたさまざまなハーブを持ち込まれました。

参加者は、ハーブの効用について講師の八谷廣子さんから説明を聞きながら、セイジやミントなどの葉に触れてみたり、顔を近づけて、甘い香りやさわやかな香りを味わうことができました。

ハーブを石けんに混ぜる場合は、香りを楽しむというよりも、その効用に期待してほしいとのことでした。例えば、汗の季節に肌を清潔にしたい人へのお勧めはラベンダー。また、バラは肌を引き締め美顔を効果的に発揮しますという八谷さんの一言で、お母さんたちの表情が明るく輝

と、園内で育成されたさまざまなハーブを持ち込まれました。

参加者は、ハーブの効用について講師の八谷廣子さんから説明を聞きながら、セイジやミントなどの葉に触れてみたり、顔を近づけて、甘い香りやさわやかな香りを味わうことができました。

ハーブを石けんに混ぜる場合は、香りを楽しむというよりも、その効用に期待してほしいとのことでした。例えば、汗の季節に肌を清潔にしたい人へのお勧めはラベンダー。また、バラは肌を引き締め美顔を効果的に発揮しますという八谷さんの一言で、お母さんたちの表情が明るく輝



いたのが印象的でした。

材料はしっかりと混ぜて、耳たぶのやわらかさに



ラベンダー、ペパーミント、バラ、マリーゴールド、ローズマリーの5種類のドライハーブをそれぞれティーサーバーに入れ、熱湯を注いで約30分置き、ハーブエキスを作ります。

ビニール袋の中に粉状の石けんの素とハーブエキス、さらに肌を滑らかにする効果がある蜂蜜を加えて、耳たぶの柔らかさになるまでよく混ぜ合わせます。

ビニール袋から出し、粘土細工のように自分の好きな形を作り、しっかりと固めていきます。1週間ほど乾燥させたら完成です。

薄いピンク色のハートやベージュの魚、花や葉など、出来上がった作品には子どもたちの想像力がそのまま生かされていました。天神小学校3年の寺井美希さん



作品と思い出を両手に抱えて

会場には、どのハーブを選ぶかを親子で相談したり、石けんの硬さを自分の耳たぶと比べてたりして笑顔を交わすなど、仲の良い親子の姿があちこちで見られました。

石けんの付いた両手で、夏休みの作品を大切に持ち帰った子どもたち。親子で体験した貴重な思い出も一緒に持ち帰って行きました。

編集長から「一言」

体型を気にしてダイエットを試みますが、いつも三日坊主のわたし。毎日少しずつ減量することで、大きな成果を生むごみダイエットは、続けたいですね。出かける際に、いつも携帯している健康茶入りの水筒は、体とごみのダイエットに効果的みたい。(N)

PUBLIC RELATIONS SASEBO



広報させぼ 編集長「キューちゃん」



広報 No.634

させぼ

特集 捨てればごみ、生かせば資源「リサイクル」 2~5p

今月の主な内容	
九十九島の日、各種相談など	6~9p
市民の広場	10~11p
イベント、施設だより	12~13p
歴史散歩、カレンダー、テレホンガイド	22~23p
九じろうの取材日記	24p

※「広報させぼ」は再生紙を使用しています。